

SOS!

四国のツキノワグマ



2016年

6月25日(土) 13:00~16:15

高知市立中央公民館大講義室

高知県高知市九反田2番1号 高知市文化プラザかるぼーと11F

【主催】日本クマネットワーク URL <http://www.japanbear.org/cms/>

【共催】認定NPO法人四国自然史科学研究センター、WWFジャパン

【後援】四国森林管理局、環境省中国四国地方環境事務所、高知県、徳島県、NHK高知放送局、エフエム高知、高知さんさんテレビ、高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、朝日新聞高知総局、読売新聞高知支局、西条自然学校（順不同、申請中を含む）

参加費無料
事前の申し込みは
必要ありません



SOS! 四国のツキノワグマ

■開催趣旨

四国山地のツキノワグマは、環境省レッドデータブック2014に「絶滅のおそれのある地域個体群」として記載されており、徳島県と高知県にまたがる剣山地及びその周辺に生息しています。生息頭数は1996年時点で50頭未満と推測され、四国全域で狩猟禁止措置が取られてきました。しかし、近年の調査では十数頭しか確認されておらず、生息状況は改善されていません。絶滅の危険性はきわめて高いと考えられます。

そこで、今回のシンポジウムでは四国のツキノワグマの現状を広く紹介し、四国のツキノワグマ保護について考えたいと思います。

■プログラム

1.開会のあいさつ

大井 徹(日本クマネットワーク代表)

2.日本のツキノワグマの状況

山崎晃司(東京農業大学)

3.四国のツキノワグマの状況

佐藤重穂(森林総合研究所北海道支所)

4.絶滅か?石鎚山系のツキノワグマ

山本貴仁(西条自然学校)

5.保護に向けた取り組み-四国のツキノワグマを知る

山田孝樹(四国自然史科学研究センター)

6.パネルディスカッション「四国のツキノワグマ保護について」

コーディネーター:大井徹

7.閉会のあいさつ

谷地森秀二(四国自然史科学研究センター)



【会場へのアクセス】

高知駅より

■電車でとさでん交通 はりまや橋下車 徒歩5分 / 菜園場町下車 徒歩3分

■バスでとさでん交通 はりまや橋下車 徒歩5分

■車で 5分

高知インターチェンジより

■車で10分

高知龍馬空港より

■車で30分

■空港連絡バスで30分 はりまや橋観光バスターミナル下車 徒歩1分

【お問い合わせ】

■認定NPO法人四国自然史科学研究センター sion@lutra.jp